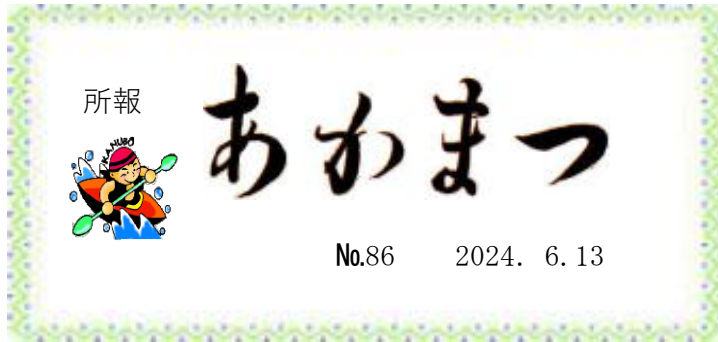




新潟県少年自然の家

〒959-2602

新潟県胎内市乙1503番地166

Tel 0254-46-2224 Fax 0254-46-3070

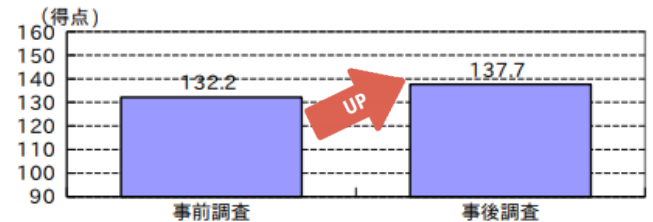
自然の家ホームページ

<https://www.pref.niigata.lg.jp/shizen/>

「生きる力」が5.5ポイント向上

所長 伊藤 彰

1月下旬、1泊2日の日程で主催事業『チャレンジわんぱく』を実施しました。小学4年生から6年生までの40名が、「どんど焼き」や「もちつき」といった伝統行事、フィンランド発祥のスポーツ「モルック」を楽しみました。事業の前後に、「IKR 評定用紙（簡易版）」（国立青少年教育振興機構）を用いて「生きる力」の変容を測定したところ、右図のとおり向上が見られました。「生きる力」を構成する「心理社会的能力」で3.3ポイント、「徳育的能力」で1.0ポイント、「身体的能力」で1.3ポイント、全ての指標で向上しており、統計的に見ても有意な差がありました。



「生きる力」の平均値の推移

体験活動への参加が、子供たちの「生きる力」の向上に影響を与えたと考えられます。「生きる力」を育むということが、文部科学省が定めている教育課程の基準である学習指導要領の基本理念です。この結果を励みに、より魅力ある多様な体験活動を提供し、子供たちの「Learning by Doing(行うことによって学ぶ)」を応援していきます。今年度は、小学生対象に2泊3日に延伸した主催事業で効果を比較するとともに、小学校4校（村上市立小川小学校、新発田市立御免町小学校、新潟市立亀田東小学校、新潟市立日和山小学校）からご協力いただき、自然教室利用における「生きる力」の変容を測定します。

ところで、先日、「体験格差」（今井悠介著 講談社）を読みました。著者は、一昨年12月、全国初の調査で体験ゼロの子供たちの存在を明らかにしたチャンス・フォー・チルドレンの代表理事です。内容の詳細は省きますが、当書で繰り返される、

「子供にとって『体験』は『必需品』なのか、それとも『贅沢品』なのか」の問い掛けに、みなさんはどう回答しますか。前述のとおり、「体験」の価値はその瞬間の楽しさだけではありません。

これからの社会をたくましく生き抜く力を培うといった、将来に対する長期的な影響も期待できます。「体験」が「必需品」だとすれば、子供自身や家庭に責任を負わせ、放置されるものではないと考えます。当自然の家は、県民誰もが無償または安価に利用いただける公共施設です。年間を通じて施設主催のイベントを実施しており、広く子供たちや親子に開かれています。且つ、子供たちへの「体験」機会を企画している方には、社会教育主事の職員が親身になって相談に応じ、必要な支援を行っています。どうぞ、今年度も新潟県少年自然の家を大いにご活用ください。



親子キャンプでのボンファイア体験

令和5年度 自然の家の通信簿

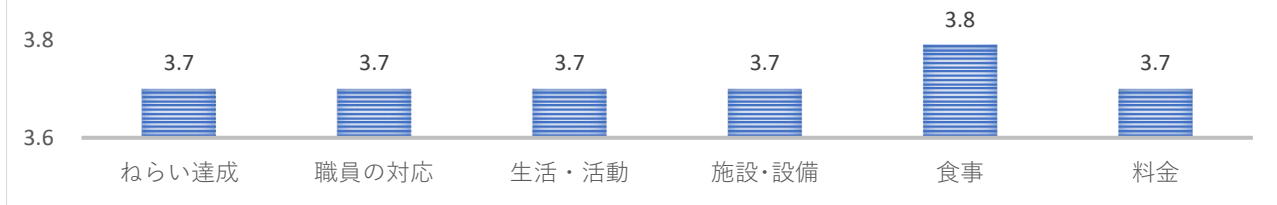
＜利用団体アンケートの結果から＞

令和5年度は、県内外より416団体、29,156人の皆さんから当施設をご利用いただきました。ご利用いただいた際にアンケートの記入をお願いしています。施設の今後の運営に役立てていきたいと思ひます。アンケートにご協力いただいたことに、深く感謝申し上げます。今後も引き続き、ご協力をお願いいたします。

※各設問では、次の1～4段階の中から選択し回答いただきました。

＜4－とても満足 3－満足 2－やや不満 1－不満＞

アンケート集計結果（平均）



1 ねらいの達成度 → 3.7 （4年度 3.8）

設問：「今回、自然の家を利用して、利用のねらいや目的は達成されましたか。」

＜主な回答＞

○仲を深める、思い出を作る、自分たちで挑戦するなどの目的を達成できました。

○自然体験活動を通して、子どもの自主性と社会性の育成の場にすることができた。

○自然を大切にしたい気持ちや仲間と協力して活動を進めようとする態度が身についた。

小学校の自然教室を中心に、様々な団体からご利用いただきました。「とらのまき（活動プログラム集）」を紹介するとともに、計画段階から目的に沿ったプログラムを提案するなど、全力で皆様の活動をサポートさせていただきます。



自然の家でキャンプ

2 職員の対応 → 3.7 （4年度 3.9）

設問：「少年自然の家職員の対応や指導はいかがでしたか。」

＜主な回答＞

○丁寧な対応、分かりやすくユーモアを交えた説明、何より子ども

分かりやすかったです。親しみをもって皆さん接していました。

○事前の打ち合わせの時から、とても親切にわかりやすく教えていただき、ありがとうございました。

○子どもの自主性や気持ちを尊重しながらという姿勢が伝わってきた。

○丁寧に対応していただきました。また、点検・チェックの場面では厳しさもあり、メリハリがありよい。

○熱中症対策を万全に講じ、カヌー活動などの楽しさを体験させてもらうことができた。

○発熱した子どもへの対応、不明な点についての応答など、丁寧に対応していただきました。

▲初めてのことで分からないところが多かったため、もう少し段取りなどを教えていただけるとよかった。

また、もう少しアクティビティの指導に入ってもらえないかと思った。

カヌー活動期間につきましては、所員が手薄になってしまいます。利用団体の皆様の活動が円滑に進められるように、引率指導者向けの研修内容の充実に努めます。



乙中の松葉かきボランティア

3 生活・活動 → 3.7 （4年度 3.8）

設問：「少年自然の家での生活、活動は快適でしたか。」

＜主な回答＞

○カヌーやキャンプファイアなど、自然を感じながら楽しく活動できました。

○木の温もりと野鳥の声に囲まれて、貴重な体験でした。

○各部屋に空調が完備されていて快適に活動、生活ができ有難かった。

○下見で体験させてもらうことで、活動の流れがよく分かった。

○ここでしかできない活動ばかりで、有意義な時間でした。

▲YouTube やとらのまきはあったのですが、経験者がいないとわからない部分が多かった。

▲部屋割りに関して、1・2階の同じ側を同じ学校にして欲しい。



胎内川河口でのカヌー活動

特に繁忙期となる6月～9月は、複数の団体が利用する中、活動場所や時間等の調整にご協力いただき、有難うございました。今年度は、さらに快適な生活・充実した体験活動をしていただけるよう、職員一同、精一杯尽力してまいります。

4 施設・設備 → 3. 7 (4年度 3. 9)

設問：「屋内外の施設・設備はいかがでしたか。」

<主な回答>

- 木をふんだんに使った施設は子どもたちの心を包み込むようでとても過ごしやすかったです。
 - 屋内外ともに、整備がしっかりされていた。きれいで素晴らしい。
 - キャンプファイアの設備、準備、後片付けの動画がありがたい。
 - カヌー、POL、GG等の充実した屋外活動、余裕をもって活動できる屋内施設等、有効に使わせていただきました。
 - エアコン等の設備がしっかりしていたので、疲れた子どもたちも快眠できたようです。体調不良などがなくてよかった。
 - ▲体育館やまつかさの家にもエアコンがあると最高です。
 - ▲営火場までの道が少々暗く、ひやひやしましたが、キャンプファイアは大いに楽しめました。
- 皆様からいただいた貴重なご意見をもとに、屋内外の施設の維持管理に全力で努めてまいります。
夜間の活動の際は、懐中電灯で足下を照らしながら安全を確認しながら移動してください。



緑の芝生広場でのグラウンド・ゴルフ活動

5 食 事 → 3. 8 (4年度 3. 7)

設問：「食事の内容はいかがでしたか。」

<主な回答>

- おいしかった。栄養バランスがとれていた。自宅で食べないようなおいしいものが食べられた。
 - 子どもたちが好みの味付けだったようで、普段食の細かい子もたくさん食べていました。
 - 子どもは大満足でした。アレルギー対応もきめ細やかになっており、その子どもたちもとても笑顔でした。
 - 味、量ともに満足だった。体を動かす活動が多いため、おいしい食事は必須であり、大変ありがたかった。
 - ▲量が足りないという児童がいました。量の調節を柔軟にできるようにしてもらえるとありがたいです。
 - ▲食事の返却口が込み合うので改善が必要。調味料がセルフで込み合うので、改善が必要。
- 食物アレルギーに関して対応が必要な団体は、「食物アレルギー調査票」の提出をお願いします。
食堂利用のスピードアップを図るため、調味料や水のピッチャーを各テーブルに運べるように工夫しました。
譲り合ってご利用ください。

6 料 金 → 3. 7 (4年度 3. 4)

☆ 満足度 → 94. 4 (4年度 96. 1)

設問：「利用にあたって、100点満点とした場合、満足度は何点でしょうか。」

<主な回答>

- これからも様々な体験活動をよろしくお願いします。普段行事に参加することができない子も2日間楽しく過ごすことができました。これも自然の家の魅力だと思います。
- お時間のない中、事前の打ち合わせにも丁寧に対応していただき、本当にありがたかったです。子どもたちにとって初めての宿泊体験がこちらでよかったです。今後もよろしくお願いします。
- 職員の皆様からは、明るく丁寧に対応していた子どもたちの成長に大きくつながったと思います。本当にありがとうございました。

今年度も、YouTube「カヌボーチャンネル」や、X(旧Twitter)「カヌボー@新潟県少年自然の家」でたくさんの動画や情報を配信しています。

利用者の皆様が生き生きと活動している様子や、四季折々の草花なども紹介しています。

ぜひ一度ご覧いただき、よろしければ「チャンネル登録」「高評価」をお願いします。



今年度、新しくなった自然の家バス

令和6年度 少年自然の家 職員				
所 長	伊藤 彰			
次 長	諸本 広志			
指導課	笠原 崇史	夏井 徳治	須田 洋介	
	星野 貴之	保坂 吉彦	駒形 誠	
	草間 淑之			
庶務課	伊藤 和子	小川 佳文	渡邊 幸男	



令和6(2024)年度 新潟県少年自然の家 主催事業一覧(予定)

主催事業名		令和6年度		ねらい・内容		募集人数・期間		会 場	
利用団体 引率指導者研修会	1	4月25日(木)	一日・午後	午前：野外炊さんや野外館内ゲーム、キャンプファイヤー等、主要な活動について研修します。(希望参加) 午後：カヌー活動研修(希望する団体のみ)、同日利用の団体とプログラムの作成・調整を行います。(原則参加) ※5月24日～10月8日利用の団体が対象		5月24日～6月23日に利用する団体		新潟県 少年自然の家	
	2	5月14日(火)				6月24日～7月21日に利用する団体			
	3	5月16日(木)				7月22日～9月8日に利用する団体			
	4	6月24日(月)				9月9日～10月8日に利用する団体			
プログラム体験会		6月 1日(土)	日帰り	自然の家でのプログラム活動の1つである野外炊さんとカヌー活動を体験します。		高校生以上 *体験活動に興味のある方 30名(先着順)		新潟県 少年自然の家 カヌー艇庫	
チャレンジわんぱく		1月25日(土) 26日(日)	一泊	自然体験や共同生活体験を通して、積極的に活動する 態度を育みます。 参加者同士で協働することの大切さを学びます。 ウィンタースポーツ・雪遊び 等		県内 小学4～6年生 (50名程度)		新潟県 少年自然の家 他	
つながろう!五頭・胎内 チャレンジキャンプ		9月14日(土)～ 16日(月)	二泊	自然体験や共同生活体験を通して、積極的に活動する 態度を育みます。 参加者同士で協働することの大切さを学びます。 カヌー・野外活動 等		県内 小学4～6年生 (50名程度)		新潟県 少年自然の家 カヌー艇庫 五頭連峰 少年自然の家	
自然・ふれあい! 家族のつどい	1	12月 7日(土) 8日(日)	一泊	季節に応じた新潟県少年自然の家のプログラムを家族で楽しみ、絆を深めます。		家族30組程度 (80名程度)		新潟県 少年自然の家	
	2	2月 8日(土) 9日(日)	一泊						
家族で カヌーに親しもう	1	8月 3日(土) 午前の部・午後の部	日帰り	カヌー活動を通じ、家族で水上スポーツの楽しさを体験します。 ※小学生の体験は4年生以上です。		各部(4回)とも 小学4年生以上の 家族参加 30名程度		新潟県 少年自然の家 カヌー艇庫	
	2	8月 4日(日) 午前の部・午後の部							
一緒にお泊まり キャンプinたいない	1	10月26日(土) 27日(日)	一泊	自然体験活動や異年齢集団による生活体験活動を通して、体験活動の楽しさや集団生活のルールを学びます。		園児(年中・年長)30名と その保護者合計70名程度 ※園児の兄弟(小学校2年生まで)の参加も可能		新潟県 少年自然の家	
	2	11月 2日(土) 3日(日)	一泊						
はつらつ体験塾	ミニ	5月11日(土)	日帰り	不登校・不登校傾向にある児童生徒に、自然体験活動や宿泊体験を通して集団への適応性や人間関係作りの資質を高められるよう、自立を支援します。 《キャンプについて》 下記の3つのキャンプがあります。 ①ミニキャンプ 日帰りの日程で気軽に参加できます。大人(保護者や担任の先生、適応指導教室の先生等)と一緒に参加することができます。 ②FC(フレンドリーキャンプ) 参加者が人間関係を結んだり、深めたりできるようなプログラム内容で活動します。 ③CC(チャレンジキャンプ) 参加者が自主性・積極性を高められるようなプログラム内容で活動します。		『ミニキャンプ』 県内小中学生 20名程度+大人 『FC・CC』 県内小中学生 30名程度		新潟県 少年自然の家	
	FC	6月15日(土) 16日(日)	一泊						
	CC	7月13日(土) 14日(日)	一泊						
	ミニ五頭	8月25日(日)	日帰り					五頭連峰 少年自然の家	
	ミニ妙高	9月22日(日)	日帰り						
	ミニ	11月16日(土)	日帰り						新潟県 少年自然の家
	FC	12月14日(土) 15日(日)	一泊						
CC	1月18日(土) 19日(日)	一泊							
自然の家でキャンプ		5月3日(金)～ 6日(月)	任意	キャンプ初心者からキャンプ愛好家まで、自然の家をキャンプサイトとして開放することで、施設の魅力や自然体験のよさを実感する機会を提供します。		1日あたり 20組60名程度		新潟県 少年自然の家	
		10月12日(土)～ 14日(月)							
国際交流キャンプ		10月 5日(土) 6日(日)	一泊	新潟県内の留学生と中高校生が、異なる文化、習慣、言葉をもつ留学生と出会い、触れ合い、様々な体験をすることで、互いに理解を深めます。		県内の留学生及び中高生 50名程度		新潟県 少年自然の家	
所長杯 グラウンド・ゴルフ大会		HPにて開催日掲載	日帰り	グラウンド・ゴルフを通じて、参加者の健康増進を図り、親睦を深めます。		60名程度		新潟県 少年自然の家	
自然の家職員が 出前指導します!		6～9月を除く随時(地域は 下越・新潟地区)		幅広い年代を対象としたレクリエーション指導のほか、中学生等のリーダーシップ研修としての依頼も大歓迎です。					

予定の変更がある場合、ホームページや広報を通して連絡いたします。これからも、当所のご利用をよろしくお願いいたします。